7.3 既存建築物等の省CO_2改修支援事業（民間建築物等事業）

①設備更新による省エネ化と利用者の快適性向上の実現

事業概要

事業者概要	事業者名	大阪府済生会　泉南医療福祉センター （株式会社 関電エネルギーソリューション）
	業種	医療、福祉／その他
事業所	所在地	大阪府
	総延床面積	14,182.56m^2
補助金額	補助金額	約1,919万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	吸収冷温水機
	導入設備	空冷式熱源機（インバーターポンプ内蔵標準タイプ、200V仕様ヒートポンプ形）
事業期間	稼働日	2024年2月
区分		更新
特長		更新した電気式ヒートポンプをベース運転とすることで、都市ガスを使用する吸収式冷温水機の運転を抑制し、病院・福祉施設の更なる省エネ化を実現している。

写真

建物外観



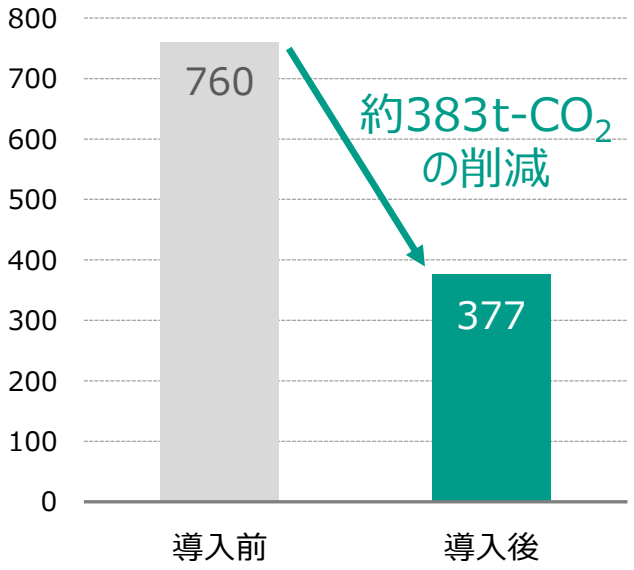
①設備更新による省エネ化と利用者の快適性向上の実現

事業の効果※1

エネルギーコスト削減額※2		約2,113万円／年
投資回収年数	補助あり※3	約1年
	補助なし※4	約2年

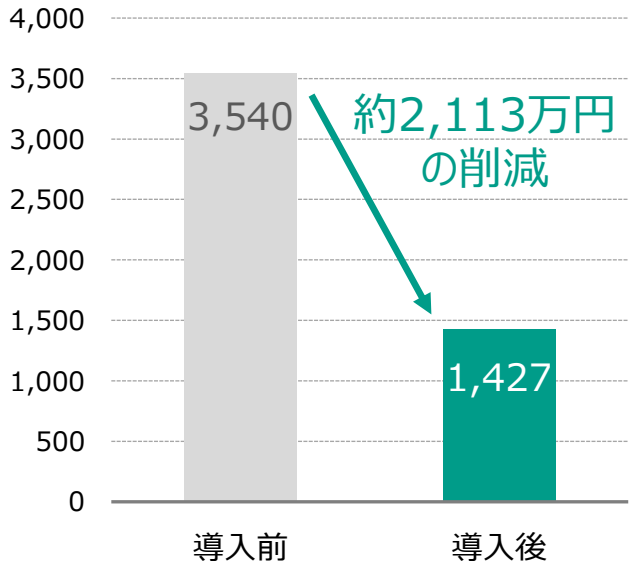
CO_2削減量	約383t-CO_2／年
CO_2削減コスト※5	約3,000円／t-CO_2

CO_2排出量（t-CO_2／年）



空調設備の更新によりCO_2排出量が削減された。

エネルギーコスト（万円／年）



施設職員の省エネ意識が向上し、エネルギー消費量の削減につながっている。

【脚注】
※1 ここに示す事業の効果は、「電力・ガス取引監視等委員会 電力取引の状況（電力取引報結果）」の2023年度データから算定した電力単価、
「資源エネルギー庁 統計 ガス事業生産動態統計調査 四半期報：総括表（金額）の販売金額・MJから算定し、家庭、商業、工業、その他を合計した都市ガス単価を用いて試算したものである。
※2 エネルギーコスト削減額：高効率設備を導入したことによる省エネ効果。
※3 投資回収年数（補助あり）：「（総事業費－補助額）÷（エネルギーコスト削減額－維持管理コスト変動額）」によって算出。総事業費は補助対象外設備等を含む。
※4 投資回収年数（補助なし）：「総事業費÷（エネルギーコスト削減額－維持管理コスト変動額）」によって算出。
※5 CO_2削減コスト：「補助額÷（CO_2削減効果×耐用年数）」によって算出。

①設備更新による省エネ化と利用者の快適性向上の実現

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ 事業実施のきっかけ・経緯：

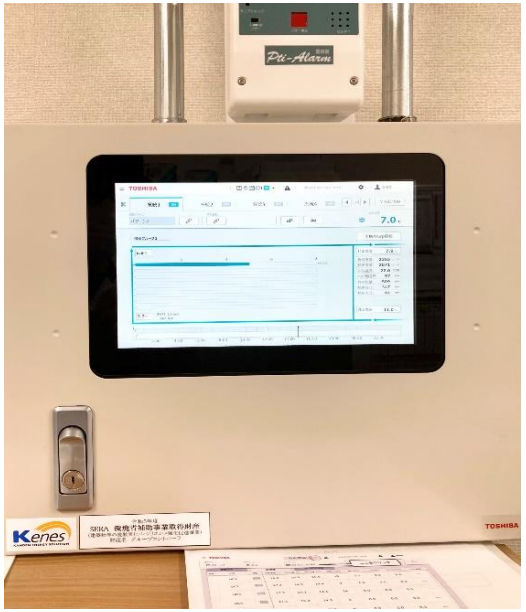
竣工時から23年間使用していたガス吸収式冷温水機が不調となり、設備更新の必要性に迫られる中、
本補助事業を知り更新した。これまでは2台のガス吸収式冷温水機を使用していたが、そのうち1台を空冷ヒートポンプチラー5台へ更新することで、ガス吸収式冷温水機の使用を抑制し、省エネとランニングコストの低減を実現することができた。

■ 管理体制の構築：

毎月のエネルギーデータを集計し、省エネ委員会（四半期に1回）にて報告、協議することで、
運用の最適化による省エネ化や職員の省エネ意識の向上という効果を得られた。
また、外注先のエネルギーマネジメント会社は、常時遠隔監視やメンテナンスの実施のみならず、
省CO_2に向けた取り組みや運用体制について改善提案を行っており、効率的な設備運用のための協力体制を構築している。



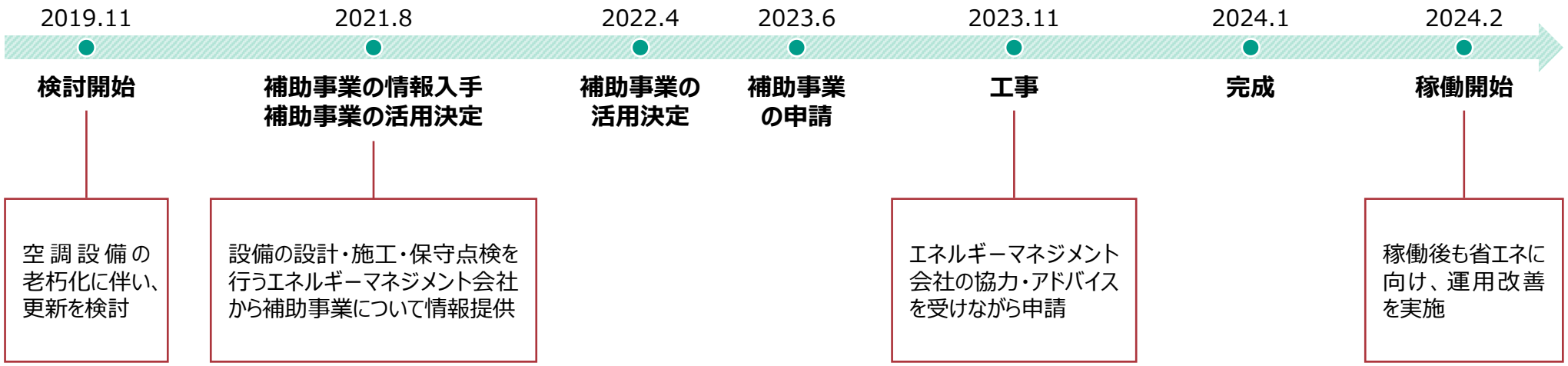
空調設備（ヒートポンプチラー）



監視盤

①設備更新による省エネ化と利用者の快適性向上の実現

事業の経緯／今後の予定



事業者の声

寺西　宏修
大阪府済生会　泉南医療福祉センター　総務課長

- 当院の中期事業計画の重点項目である「グリーン社会の実現」に向け、省エネ活動の普及促進に寄与できたと考えています。
  本補助事業により、当院、導入設備の設置事業者、日常巡視点検事業者の3者で省エネ会議を実施するようになり、エネルギー消費量の可視化が進み、職員の省エネ意識も高まって、エネルギーコストの削減にもつながっています。